

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑧	学校名	明日香養護学校
----	---	-----	---------

1. 取組名 明日香村地域発見プロジェクト

2. 活動内容

明日香高市樞原周辺地域で活動する団体や個人と各学部が主体になり、児童生徒の実態に合った活動を行った。以下がその活動である。

- ・地域在住の陶芸家に複数回にわたり、陶芸について教わった。
- ・郷土料理の「飛鳥鍋」の作り方を教わりながら、明日香村の話聞いた。
- ・草木染の歴史について学び、様々な草木の特徴を生かした染め物を作成した。
- ・様々な絵本に触れたり、読み聞かせを聞かせていただいたりした。
- ・交通安全啓発と赤い羽根共同募金を行った。

3. 成果と課題

明日香養護学校には、重度重複障害の児童生徒が多く在籍している。実際に地域に出て活動することは難しいので、地域の方に来校していただいた。

児童生徒にとっては、普段接することがない方とコミュニケーションをとりながら、普段できない活動ができた。地域の方にとっては、障害理解と活動場所の拡大につながった。交通安全啓発活動と募金活動については、社会福祉協議会の方と一緒に声をかけ、募金をしていただいた。自分が働きかけた結果、人の役に立つことができたので、自信をつけることができた。

課題としては、地域の方と積極的に協働作業を行ったり、課題解決に踏み込んだりするまで至っていない。同じ活動を複数年積み重ねることにより、生徒自身が反省を生かし、よりよい結果に結び付ける機会をつくること、地域の方とより協働できる機会を探っていく必要がある。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

地域間や学部間など目的に応じて様々に連携し、キャリア教育的な視点も取り入れながら計画的に行っていきたい。

「教わる」活動が多く、「協働する」活動が少なかったなので、様々な方に協力をいただけるよう積極的に開拓していく必要がある。

